



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	7,236	5.0	△384	—	△361	—	△212	—
26年6月期第1四半期	6,889	9.1	△34	—	△37	—	14	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △153百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 160百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△22.90	—
26年6月期第1四半期	1.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	27,345	8,595	31.4	928.02
26年6月期	23,875	8,842	37.0	954.63

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 8,595百万円 26年6月期 8,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,300	8.0	1,350	5.4	1,350	5.0	800	△6.9	86.37
通期	36,500	9.3	1,350	10.4	1,350	14.6	800	△36.5	86.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	9,295,000 株	26年6月期	9,295,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	32,308 株	26年6月期	32,308 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	9,262,692 株	26年6月期1Q	9,260,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和政策により、景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安による原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、節約志向・低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など、厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高72億36百万円（前年同四半期比3億47百万円（5.0%）の増加）、営業損失は3億84百万円（前年同四半期は営業損失34百万円）、経常損失は3億61百万円（前年同四半期は経常損失37百万円）、四半期純損失は2億12百万円（前年同四半期は四半期純利益14百万円）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、4月の消費税増税が消費者に節約意識を高まらせていたことに加え、今夏は、台風や豪雨などの天候不順によって、幅広い業種での需要の減少につながったとみられ、水産練製品も厳しい環境でありましたが、新製品の発売ならびに製品リニューアルなどの販売促進施策により「竹輪」・「揚物」商品群は堅調に推移いたしました。

一方、主に原材料、エネルギーコスト等の高騰による生産コスト上昇により利益面では前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は63億15百万円（前年同四半期比4億26百万円（7.2%）の増加）、セグメント損失（営業損失）は3億78百万円（前年同四半期は54百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、消費税率の引き上げ後、依然個人消費が伸びないなか、野菜相場は8月中旬以降台風、冷夏の天候不順で価格高となり、きのこ価格も同時期以降堅調でありましたが、節約意識の高まりや需要と供給の環境により厳しい状況で推移し、売上高・利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は8億6百万円（前年同四半期比16百万円（1.9%）の減少）、セグメント損失（営業損失）は50百万円（前年同四半期は9百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③ その他

運送事業におきましては、物流機能の強化と効率化の推進により、利益は前年同四半期を上回る結果となりましたが、定期輸送便の一部終了等により、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫は低調に推移いたしましたが生産在庫を高い水準で維持し、また効率的な庫内管理に努めた結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

また、前連結会計年度においてゴルフ場事業を譲渡しております。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は1億14百万円（前年同四半期比63百万円（35.7%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は43百万円（前年同四半期は15百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は88億1百万円（前連結会計年度末比18億98百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加、需要期に備えた商品及び製品、仕掛品の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は185億44百万円（前連結会計年度末比15億72百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加によるものであります。

なお、海外連結子会社の工場竣工により、建設仮勘定から建物及び構築物、機械装置及運搬具等に振替を行っております。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は129億1百万円（前連結会計年度末比39億23百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は58億48百万円（前連結会計年度末比2億6百万円の減少）となりました。これは主に社債の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純損失の計上ならびにその他有価証券評価差額金の増加や配当金の支払等により85億95百万円（前連結会計年度末比2億46百万円の減少）となり、自己資本比率は、季節的要因による流動資産ならびに有形固定資産の増加などにより総資産が増加したため、前連結会計年度末の37.0%から31.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月31日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,295	1,435,567
売掛金	2,571,606	3,565,005
商品及び製品	430,424	863,725
仕掛品	627,014	866,776
原材料及び貯蔵品	1,329,722	1,398,689
その他	520,755	672,403
貸倒引当金	△666	△769
流動資産合計	6,903,153	8,801,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,400,545	7,276,124
機械装置及び運搬具(純額)	2,742,805	4,093,681
工具、器具及び備品(純額)	107,935	136,472
土地	3,342,383	3,326,383
リース資産(純額)	40,965	198,602
建設仮勘定	2,164,036	163,191
有形固定資産合計	13,798,672	15,194,455
無形固定資産	384,845	388,978
投資その他の資産		
投資有価証券	2,113,906	2,280,844
その他	707,363	704,527
貸倒引当金	△32,916	△24,516
投資その他の資産合計	2,788,353	2,960,855
固定資産合計	16,971,872	18,544,289
資産合計	23,875,026	27,345,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,946,476	2,115,558
短期借入金	4,384,504	6,968,152
未払法人税等	20,131	35,372
賞与引当金	56,461	225,658
未払金及び未払費用	1,399,506	1,579,838
その他	1,170,135	1,976,436
流動負債合計	8,977,214	12,901,015
固定負債		
社債	2,630,000	1,957,500
長期借入金	2,782,310	2,915,998
役員退職慰労引当金	182,182	185,744
その他	460,856	789,490
固定負債合計	6,055,348	5,848,732
負債合計	15,032,563	18,749,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	6,413,043	6,108,341
自己株式	△15,499	△15,499
株主資本合計	7,987,544	7,682,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	760,383	873,944
為替換算調整勘定	94,534	39,153
その他の包括利益累計額合計	854,917	913,097
純資産合計	8,842,462	8,595,940
負債純資産合計	23,875,026	27,345,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,889,528	7,236,937
売上原価	5,244,628	5,927,413
売上総利益	1,644,900	1,309,524
販売費及び一般管理費	1,679,867	1,693,643
営業損失(△)	△34,967	△384,119
営業外収益		
受取利息	28	34
受取配当金	3,728	2,023
受取賃貸料	3,275	3,112
為替差益	—	33,680
保険配当金	4,557	744
雑収入	10,846	13,801
営業外収益合計	22,436	53,395
営業外費用		
支払利息	23,641	25,970
雑損失	974	4,464
営業外費用合計	24,615	30,434
経常損失(△)	△37,146	△361,157
特別利益		
固定資産売却益	1,255	29
投資有価証券売却益	—	1,858
補助金収入	—	56,947
受取賠償金	—	623
特別利益合計	1,255	59,459
特別損失		
固定資産除却損	9,655	1,882
固定資産売却損	—	1,148
特別損失合計	9,655	3,030
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,547	△304,728
法人税、住民税及び事業税	110,676	51,052
法人税等調整額	△170,281	△143,705
法人税等合計	△59,604	△92,653
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	14,057	△212,075
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,057	△212,075

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	14,057	△212,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154,561	113,560
為替換算調整勘定	△8,409	△55,381
その他の包括利益合計	146,151	58,179
四半期包括利益	160,208	△153,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,208	△153,895
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,888,615	823,065	6,711,680	177,848	6,889,528	—	6,889,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	476,180	476,180	△476,180	—
計	5,888,615	823,065	6,711,680	654,028	7,365,709	△476,180	6,889,528
セグメント利益又は損失(△)	△54,202	△9,764	△63,966	15,865	△48,100	13,133	△34,967

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額13,133千円は、主にセグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,315,613	806,992	7,122,605	114,332	7,236,937	—	7,236,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	556,710	556,710	△556,710	—
計	6,315,613	806,992	7,122,605	671,043	7,793,648	△556,710	7,236,937
セグメント利益又は損失(△)	△378,913	△50,167	△429,081	43,899	△385,181	1,062	△384,119

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送・倉庫事業セグメントであります。
2. セグメント利益の調整額1,062千円は、主にセグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。